



覚せい剤等薬物乱用の防止

人生を狂わす「一度だけ」



薬物の乱用とは、医療品を医療目的以外に使用することや、医療目的でない薬物を不正に使用することです。

精神に影響を及ぼす物質の中で、習慣性があり乱用され、又は乱用される恐れのある物質として、覚せい剤・大麻・MDMA・コカ

イン・ヘロイン・LSD・向精神薬・シンナー等があり、これらの取り扱いには法律により禁止、又は制限されています。

薬物を乱用すると中枢神経に作用し、快感を得たり、薬物の効果が切れたときの苦痛等から逃れるため、薬物による効果を強く求めるようになる「依存性」が形成されます。

また、薬物を繰り返し使用していくうちに、同じ量では効かなくなる「耐性」が生じます。

「一度だけ」と言う好奇心や遊びのつもりでも、薬物の依存性と耐性によって、乱用する量や回数が増え、いく…という悪循環に陥ります。

不法滞在・不法就労防止

日本に滞在する来日外国人の中には不法就労を行い、その一部は近年深刻化している国際組織犯罪等への関与を深めていると思われま

す。不法滞業者や働くことが出来ない在留資格の外国人を雇用したり、密航等を手助けした場合は処罰されます。



吉田島事件簿

§松田警察署管内において、無施錠やエンジンキーを車内に置いたままの状態ですべて駐車している車の盗難事件が発生しています。自宅敷地内に駐車する際も確実に施錠をしましょう。



令和3年5月12日、上島あいつつ運動の会の皆さんと共に、古田島駐在所管内において徒歩による合同パトロールを実施しました。

暖かくなるにつれて犯罪の発生が懸念されます。自宅の戸締りを確実に実施し、駐車車両内に貴重品を置かないなど、身近なところから注意してください。

振り込め詐欺にご用心

松田警察署管内において、警察官や金融機関の職員を騙って、「キャッシュカードやクレジットカードが不正に使われているので新しいカードに交換する。」と言って、カードを回収する詐欺の電話が掛かっています。相手にカード等を手渡さないようにしてください。



二輪車交通事故防止

神奈川県内では、本年3月末現在で二輪車が関係する交通事故は前年に比べて減少していますが、二輪乗車中の交通事故で7人の方が亡くなられており、交通事故死者全体の約24%を占めています。スピードを控えるために、心にゆとりをもって運転しましょう。



また、夜間は明るい服装を心掛け、反射材等を活用してください。

編集後記

神奈川県内では、「自転車も乗れば車の仲間入り」交通ルールを守って事故のないようにしましょう。